

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題  
中間評価報告書

研究開発課題名	超高感度 CE-MS 技術に基づくマイクロスケール薬物動態評価プラットフォーム
代表機関名	国立大学法人九州大学
研究開発代表者名	川井 隆之
全研究開発期間	令和3年度 ～ 令和7年度 (予定)

1. 研究開発成果 (公開用)

中間報告書 (下 URL) 参照

<https://www.amed.go.jp/content/000120226.pdf>

2. 総合評価

- ・優れている

【評価コメント】

超高感度 CE-MS 技術に基づくマイクロスケール薬物動態評価プラットフォーム構築に向け、当初計画に沿った高感度化や広範な技術展開が順調に進展しており、評価できる。本技術の知財戦略については知財専門家とも相談し、準備を進めて頂きたい。

課題間連携でのシーズ開発課題への対応により測定事例を積み上げ、本 CE-MS 技術と他の測定技術との測定範囲の違いや使い分け判断の考え方を明確化すること。その上で、本測定技術で適用されるモダリティの特性を明らかにするとともに、さらなる高感度化と再現性確保を進め、実働性のあるマイクロスケール薬物動態評価プラットフォームの完成に向け研究を進めること。

以上